6〔中学校　保健体育〕

受験区分	受験番号	氏　　名

〔注意事項〕

1　試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2　この試験は、コンピュータを利用して採点するため、解答用紙にていねいに鉛筆で記入してください。

3　解答用紙には解答記入欄以外に次の記入があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

（1）受験区分・受験番号欄

受験区分・受験番号（数字）を受験票のとおりに記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。

（2）氏名欄、校種等・教科（科目）欄

氏名・フリガナ及び校種等・教科（科目）を記入してください。なお、校種等・教科（科目）については、受験票のとおりに記入してください。

4　試験時間は60分です。

5　解答は、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。例えば、［1］と表示のある解答番号に対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号［1］の解答記入欄の③にマークしてください。

（例）

解答番号	解答記入欄 1 － 20
［1］	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6　解答用紙の解答記入欄は、全部で、［100］まで記入できるようになっていますが、〔中学校　保健体育〕試験の解答番号は１～50ですので、解答記入欄の［51］～［100］は絶対に記入しないでください。

7　どの問題も、解答番号一つにつき解答記入欄にマークできる答えは必ず一つです。二つ以上の番号にマークしたものは採点されません。

8　解答番号のマークを間違えたときは、消しゴムで完全に消してからマークしてください。

9　計算を要する問題は、問題用紙の余白を利用してください。解答用紙で計算しないでください。

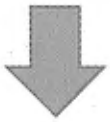
10　問題の内容についての質問はできません。

正誤表

○ 中学校　保健体育　22ページ　〔８〕　問１

（誤）

民謡（よう）



（正）

民踊（よう）

kyosai-guild.jp

〔１〕　保健分野について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、教科の目標及び内容について示されているものの一部である。［ 1 ］、［ 2 ］に入る最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。
解答番号は［ 1 ］、［ 2 ］。

> **1　教科の目標**
> ～中略～
> 保健の見方・考え方については，疾病や傷害を防止するとともに，［ 1 ］や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ，「個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する［ 2 ］に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や［ 1 ］の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること」であると考えられる。

［ 1 ］の語群

①　生活の質　　②　社会生活　　③　個人生活　　④　豊かなスポーツライフ

［ 2 ］の語群

①　知識及び技能　　②　多様な関わり方　　③　原則や概念　　④　環境づくり

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、健康な生活と疾病の予防の知識について示されているものの一部である。［ 3 ］に入る最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 3 ］。

> **ア　知識**
> ～中略～
> (ｲ)　生活習慣と健康
> ㋐　運動と健康
> 運動には，身体の各器官の機能を刺激し，その発達を促すとともに，気分転換が図られるなど，精神的にもよい効果があることを理解できるようにする。また，健康を保持増進するためには，年齢や生活環境等に応じて［ 3 ］ことが必要であることを理解できるようにする。

［ 3 ］の語群

①　運動を続ける　　②　運動種目を選ぶ
③　運動強度を調整する　　④　運動時間や回数を制限する

Kyosai-guild.jp

問3　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、健康な生活と疾病の予防の知識について示されているものの一部である。［ 4 ］に入る最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 4 ］。

> **ア　知識**
> ～中略～
> (カ)　健康を守る社会の取組
> ～中略～
> さらに，医薬品には，［ 4 ］があること及び，使用回数，使用時間，使用量などの使用法があり，正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。

［ 4 ］の語群

①　発育・発達を妨げるリスク	②　主作用と副作用
③　感染症を予防する効果	④　生活習慣を改善する効果

問4　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、心身の機能の発達と心の健康の知識及び技能について示されているものの一部である。
［ 5 ］、［ 6 ］に入る最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 5 ］、［ 6 ］。

> **ア　知識及び技能**
> ～中略～
> (イ)　生殖に関わる機能の成熟
> 思春期には，［ 5 ］から分泌される［ 6 ］の働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し，男子では射精，女子では月経が見られ，妊娠が可能となることを理解できるようにする。

［ 5 ］の語群

①　肝臓	②　甲状腺	③　腎臓	④　下垂体

［ 6 ］の語群

①　成長ホルモン	②　酵素	③　性腺刺激ホルモン	④　白血球

kyosai-guild.jp

問５　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、傷害の防止の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 7 ］に入る最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 7 ］。

> **ア　知識及び技能**
> ～中略～
> (エ)　応急手当の意義と実際
> ㋐　応急手当の意義
> 傷害が発生した際に，その場に居合わせた人が行う応急手当としては，傷害を受けた人の反応の確認等状況の把握と同時に，周囲の人への連絡，傷害の状態に応じた手当が基本であり，［ 7 ］は傷害の悪化を防止できることを理解できるようにする。

［ 7 ］の語群

①　迅速かつ適切な手当	②　医療機関の受診
③　気道確保と胸骨圧迫	④　119番通報

問６　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、健康と環境の知識について示されているものの一部である。［ 8 ］に入る最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 8 ］。

> **ア　知識**
> (ア)　身体の環境に対する適応能力・至適範囲
> ㋐　気温の変化に対する適応能力とその限界
> 気温の変化に対する体温調節の機能を例として取り上げ，身体には，環境の変化に対応した調節機能があり，一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があることを理解できるようにする。また，屋内外での［ 8 ］や山や海での遭難などによる低体温症などを取り上げ，体温を一定に保つ身体の適応能力には限界があること，その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから，気象情報の適切な利用が有効であることを理解できるようにする。

［ 8 ］の語群

①　脱水症状	②　熱中症	③　凍傷	④　運動による事故

kyosai-guild.jp

問７　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、指導計画の作成と内容の取扱いについて示されているものの一部である。［ 9 ］、［ 10 ］に入る最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。
解答番号は［ 9 ］、［ 10 ］。

> **１　指導計画の作成**
> ～中略～
> 〈各分野に当てる授業時数〉
> 次に，３学年間で各分野に当てる授業時数は，体育分野267単位時間程度，保健分野［ 9 ］単位時間程度を配当することとしている。
> ～中略～
> また，各分野に当てる授業時数は，例えば，体ほぐしの運動と心の健康，水泳と応急手当などの指導に当たっては，［ 10 ］をもたせて指導するように配慮する必要がある。

［ 9 ］の語群

① 28　② 38　③ 48　④ 58

［ 10 ］の語群

① 教科等横断的な視点　② 主体的・対話的で深い学びの視点
③ 実習を行うため時間に余裕　④ 体育分野と保健分野との密接な関連

kyosai-guild.jp

〔２〕　体つくり運動について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体つくり運動［第１学年及び第２学年］の知識及び運動について示されているものの一部である。［ 11 ］、［ 12 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 11 ］、［ 12 ］。

（１）　**知識及び運動**

～中略～

○　**運動**

～中略～

イ　体の動きを高める運動

体の動きを高める運動の**体の動き**とは，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力の総称を示している。それぞれの動きを高めるための運動を行い，［ 11 ］体力を高めることが大切である。

ねらいに応じて運動を行うとは，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるためのねらいを設定して，自己の［ 12 ］や体力の状態に応じて，体の動きを高める運動を行ったり組み合わせたりすることを示している。

［ 11 ］の語群

①　持久的な　　②　調和のとれた　　③　防衛　　④　基礎

［ 12 ］の語群

①　ストレス　　②　心　　③　健康　　④　意欲

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体つくり運動［第１学年及び第２学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。［13］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［13］。

（３）　学びに向かう力，人間性等

～中略～

一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとするとは，体の動きには，体力や性別，障害の有無等に応じた違いがあることを認めようとすることを示している。そのため，体つくり運動を行う際は，様々な違いを超えて，参加者全員が楽しんだり達成感を味わったりするための［13］が求められる場合があることなどを理解し，取り組めるようにする。

［13］の語群

① 工夫や調整　　② 雰囲気づくり
③ グループの団結力　　④ コミュニケーション能力

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体つくり運動［第３学年］の知識及び運動について示されているものの一部である。［14］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［14］。

（１）　知識及び運動

～中略～

○　知識

運動を継続する意義では，［14］に運動を続けることは，心や体の健康や体力の保持増進につながることや，さらには豊かなスポーツライフの実現は，地域などとのコミュニケーションを広げたり，余暇を充実させたりするなど生活の質を高めることにもつながることを理解できるようにする。

［14］の語群

① 積極的　　② 定期的・計画的
③ 効果的　　④ 自主的・実践的

kyosai-guild.jp

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体つくり運動［第３学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。［15］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［15］。

> **（３）　学びに向かう力，人間性等**
>
> ～中略～
>
> **互いに助け合い教え合おうとする**とは，運動を行う際，互いの心の変化に気付いたり，仲間の動きをよく見たりして，仲間に課題を伝え合いながら取り組もうとすることを示している。そのため，互いに助け合い教え合うことは，［15］したり，課題の解決に役立つなど自主的な学習を行いやすくしたりすることを理解し，取り組めるようにする。

［15］の語群

①　安全を確保	②　他者の気持ちを理解
③　自己の課題を理解	④　心の居場所を確保

kyosai-guild.jp

〔３〕　器械運動について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、器械運動［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。 16 に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 16 。

> （１）　**知識及び技能**
> ～中略～
> ○　**知識**
> ～中略～
> **技の名称や行い方**では，技の名称は，運動の構造と関連して，懸垂・支持・上がり・回転などの運動の基本形態を示す名称と，運動の経過における，方向・姿勢・運動などの 16 を示す名称によって成り立っていることを理解できるようにする。

16 の語群

①　特性　　②　流れ　　③　質　　④　課題

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、器械運動［第１学年及び第２学年］の思考力、判断力、表現力等について示されているものの一部である。 17 に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 17 。

> （２）　**思考力，判断力，表現力等**
> ～中略～
> **技などの自己の課題を発見し**とは，器械運動の特性を踏まえて，技や技の組合せ方などの改善についてのポイントを発見したり，仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の 17 の課題を発見したりすることを示している。

17 の語群

①　練習計画　　②　体力
③　目標設定　　④　取り組み方

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、器械運動［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。
18 、 19 に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 18 、 19 。

（１）　知識及び技能
～中略～
○　技能
～中略～
滑らかに安定して行うとは，技を繰り返し行っても，その技に求められる動き方が，いつでも動きが 18 に続けてできることを示している。
構成し演技するとは，基本的な技， 19 技，発展技の中から，技の静止や組合せの流れに着目して「はじめ―なか―おわり」に用いる技を構成し，演技できるようにするといった組合せの質的な発展を示している。

18 の語群

①　丁寧　　②　途切れず　　③　ダイナミック　　④　軽快

19 の語群

①　なかの　　②　段階的な
③　条件を変えた　　④　組合せ

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、器械運動［第３学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。
20 に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 20 。

（３）　学びに向かう力，人間性等
～中略～
〈例示〉
・器械運動の学習に自主的に取り組もうとすること。
・自己の状況にかかわらず，互いに讃え合おうとすること。
・仲間に課題を伝え合ったり 20 合ったりして，互いに助け合い教え合おうとすること。

20 の語群

①　補助し　　②　相談し
③　指示し　　④　安全面に配慮し

kyosai-guild.jp

〔４〕　陸上競技について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、陸上競技［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。 21 、 22 に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 21 、 22 。

（１）　**知識及び技能**

～中略～

○　**知識**

陸上競技の特性や成り立ちでは，陸上競技は，「歩く」，「走る」，「跳ぶ」及び「投げる」といった基本的な運動で， 21 に挑戦したり，競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること，古代ギリシアのオリンピア競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解できるようにする。

技術の名称や行い方では，陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり，それぞれの技術で動きのポイントがあることを理解できるようにする。

～中略～

それぞれに速く走るための腕や脚などの 22 な動かし方があることを理解できるようにする。

21 の語群

①　仲間の記録	②　自己の記録
③　過去の記録	④　他者の記録

22 の語群

①　継続的	②　汎用的
③　実践的	④　効果的

kyosai-guild.jp

問2　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、陸上競技［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 23 ］、［ 24 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 23 ］、［ 24 ］。

（１）　**知識及び技能**

～中略～

○　**技能**

～中略～

ウ　ハードル走

ハードル走では，ハードルを低く素早く越えながらインターバルをリズミカルに［ 23 ］走り，タイムを短縮したり，競走したりできるようにする。

～中略～

エ　走り幅跳び

～中略～

〈例示〉

・踏み切り前３～４歩からリズムアップして踏み切りに移ること。

・踏み切りでは上体を起こして，［ 24 ］キックし，振り上げ脚を素早く引き上げること。

・かがみ跳びやそり跳びなどの空間動作からの流れの中で，脚を前に投げ出す着地動作をとること。

［ 23 ］の語群

① テンポよく　② スピードを上げて

③ スピードを維持して　④ リラックスして

［ 24 ］の語群

① 地面を踏みつけるように　② 地面に叩きつけるように

③ 地面からすぐに離れるように　④ 地面と垂直になるように

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、陸上競技の内容の取扱いについて示されているものの一部である。

［ 25 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 25 ］。

内容の取扱い

～中略～

(ｱ)　陸上競技の領域は，第１学年及び第２学年においては，全ての生徒に履修させることとしているが，第３学年においては，［ 25 ］のまとまりの中から１領域以上を選択して履修できるようにすることとしている。

［ 25 ］の語群

①　器械運動，陸上競技，水泳及びダンス　　②　陸上競技，球技，水泳及びダンス

③　器械運動，陸上競技，水泳及び武道　　④　陸上競技，水泳，武道及びダンス

kyosai-guild.jp

〔５〕　水泳について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、水泳［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。 26 、 27 に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 26 、 27 。

（１）　知識及び技能

～中略～

○　技能

～中略～

［泳法］

ア　クロール

速く泳ぐとは，一定の距離を，大きな推進力を得るための力強い手の動きと， 26 を得るための力強い足の動き，ローリングを利用した呼吸動作で，速度を速めて泳ぐことである。

指導に際しては，クロールの距離は，25～50m程度を目安とするが，生徒の体力や技能の程度などに応じて弾力的に扱うようにする。

～中略～

［スタート及びターン］

～中略～

ア　スタート

水中からのスタートとは，水中でプールの壁を蹴り，抵抗の少ない流線型の姿勢で， 27 キックを用いて，速い速度で泳ぎ始めることができるようにすることである。

26 の語群

①　安定した推進力	②　持続した回転力
③　効率的なストローク	④　段階的なスピード

27 の語群

①　大きな	②　前進するための
③　浮き上がりのための	④　力強い

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、水泳［第３学年］について示されているものの一部である。

［ 28 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 28 ］。

［第３学年］

第１学年及び第２学年の泳法を身に付けることをねらいとした学習を受けて，第３学年では，［ 28 ］泳ぐことを学習のねらいとしている。

［ 28 ］の語群

① タイミングよく　② 持続的に
③ バランスよく　④ 効率的に

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、水泳［第３学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。

［ 29 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 29 ］。

（３）　学びに向かう力，人間性等

～中略～

水泳の事故防止に関する心得とは，自己の体力や技能の程度に応じて泳ぐ，無理な潜水は［ 29 ］があるため行わない，溺れている人を見付けたときの対処としての救助の仕方と留意点を確認するなどといった健康・安全の心得を示している。

［ 29 ］の語群

① 体力面の危険　② 意識障害の危険
③ 他者に危険　④ けがの危険

kyosai-gunma.jp

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、水泳の内容の取扱いについて示されているものの一部である。［30］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［30］。

内容の取扱い

～中略～

(ｲ)　水泳の運動種目は，第１学年及び第２学年において，クロール，平泳ぎ，背泳ぎ及びバタフライの中からクロール又は平泳ぎを含む二を選択して履修できるようにすることとしている。

～中略～

なお，学校や地域の実態に応じて，安全を確保するための泳ぎを加えて履修させることができることとしているが，安全を確保するための泳ぎを取り上げる場合は，背浮きや浮き沈みを活用して，［30］学習ができるようにすることが大切である。

［30］の語群

①　速く泳ぎ続ける
②　長く浮き続ける
③　効率よく泳ぎ続ける
④　すぐに助けを求める

kyosai-guild.jp

〔６〕　球技について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、球技［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［31］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［31］。

> **（１）　知識及び技能**
> ～中略～
> **○　技能**
> **ア　ゴール型**
> ～中略～
> 第１学年及び第２学年では攻撃を重視し，空間に仲間と連携して走り込み，マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。
> 指導に際しては，ゴール前の空間をめぐる攻防についての学習課題を追究しやすいようにプレイヤーの人数，コートの広さ，用具，プレイ上の制限を工夫したゲームを取り入れ，ボール操作と［31］の動きに着目させ，学習に取り組ませることが大切である。

［31］の語群

① ボールを持たないとき　② ボールを持ったとき
③ 相手　④ 仲間

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、球技［第１学年及び第２学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。［32］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［32］。

> **（３）　学びに向かう力，人間性等**
> ～中略～
> 〈例示〉
> ・球技の学習に積極的に取り組もうとすること。
> ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして，フェアなプレイを守ろうとすること。
> ・作戦などについての話合いに参加しようとすること。
> ・一人一人の違いに応じた課題や［32］及び修正などを認めようとすること。

［32］の語群

① 価値　② 取り組み方　③ 挑戦　④ 達成感

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、球技［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 33 ］、［ 34 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 33 ］、［ 34 ］。

（１）　知識及び技能

～中略～

○　知識

～中略～

などの例には，試合の行い方がある。ゲームのルール，審判及び運営の仕方があることを理解できるようにする。

指導に際しては，第１学年及び第２学年に示したことに加え，領域の特性や魅力を一層味わい，［ 33 ］を促すための知識を効果的に理解できるよう指導の機会を工夫することが大切である。

〈例示〉

・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術，作戦には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあること。

・戦術や作戦に応じて，技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること。

・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や［ 34 ］を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができること。

［ 33 ］の語群

① 段階的な学習　② 自主的な学習
③ 発展的な学習　④ 具体的な学習

［ 34 ］の語群

① 効果的な練習　② 全体練習
③ 課題の練習　④ 部分練習

kyosai-guild.jp

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、球技［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 35 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。
解答番号は［ 35 ］。

（１）　**知識及び技能**

～中略～

○　**技能**

～中略～

ウ　ベースボール型

～中略～

安定したバット操作とは，［ 35 ］が安定した一連のスイング動作で，タイミングを合わせてボールを打ち返すバット操作のことである。

［ 35 ］の語群

①　両脚　　②　上半身
③　身体全体　　④　身体の軸

kyosai-guild.jp

〔７〕　武道について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、武道［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 36 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 36 ］。

> **（１）　知識及び技能**
> ～中略～
> **○　知識**
> ～中略～
> 〈例示〉
> ・武道は対人的な技能を基にした運動で，我が国固有の文化であること。
> ・武道には技能の習得を通して，［ 36 ］を図るという伝統的な考え方があること。

［ 36 ］の語群

①　人間形成　　②　学習の充実　　③　心の育成　　④　健全育成

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、武道［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 37 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 37 ］。

> **（１）　知識及び技能**
> ～中略～
> **○　技能**
> **ア　柔道**
> ～中略～
> **投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をする**とは，［ 37 ］やごく簡易な試合で，相手の動きに応じた基本動作や投げ技の基本となる技を用いて，投げたり受けたりする攻防の展開や，固め技の基本となる技を用いて抑えたり返したりする攻防を展開することである。

［ 37 ］の語群

①　かかり練習　　②　自由練習
③　約束練習　　④　対人的な技能

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、武道［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 38 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 38 ］。

（１）　**知識及び技能**

～中略～

○　**技能**

～中略～

イ　剣道

～中略～

相手の動きに応じた基本動作とは，相手の動きに応じて行う構えと体さばき，基本の打突（だとつ）の仕方と受け方のことである。構えと体さばきには，構えのもととなる自然体，基本となる中段の構え，相手の動きに応じて攻撃や防御の間を保つための足さばきがある。また，打突（だとつ）の仕方と受け方には，正面打ちとその受け方，胴（右）の打ちとその受け方，小手（右）の打ちとその受け方がある。

指導に際しては，構えや体さばきと基本の打突（だとつ）の仕方や受け方は関連付けて身に付けることに配慮するなど，対人的な技能として一体的に扱うようにする。

〈例示〉

○　基本動作

・構えでは，相手の動きに応じて自然体で中段に構えること。

・体さばきでは，相手の動きに応じて［ 38 ］をすること。

［ 38 ］の語群

① 歩み足やすり足　② 運び足や送り足

③ 歩み足や送り足　④ 運び足やすり足

kyosai-gunma.jp

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、武道［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 39 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。
解答番号は［ 39 ］。

（１）　知識及び技能
～中略～
○　技能
～中略～
ウ　相撲
～中略～
基本となる技とは，押し，寄り，いなしなどの既習技に加えて，投げ技と［ 39 ］がある。
なお，生徒の心身の発達の段階から「突き」を扱わないこととする。

［ 39 ］の語群
①　後さばき　　②　前まわりさばき　　③　前さばき　　④　後ろまわりさばき

問５　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、武道［第３学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。
［ 40 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 40 ］。

（３）　学びに向かう力，人間性等
～中略～
などの例には，互いに助け合い教え合おうとすることがある。これは，練習の際に，投げ込みや打ち込みの相手を引き受けたり，見取り稽古などを通して仲間の課題を指摘するなど教え合ったりしながら取り組もうとすることを示している。そのため，互いに助け合い教え合うことは，仲間との［ 40 ］を高めて切磋琢磨するなど自主的な学習を行いやすくすることにつながることを理解し，取り組めるようにする。

［ 40 ］の語群
①　連帯感　　②　関係
③　認識　　④　責任感

kyosai-guild.jp

〔８〕　ダンスについて、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、ダンス［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。［ 41 ］、［ 42 ］、［ 43 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 41 ］、［ 42 ］、［ 43 ］。

（１）　知識及び技能

～中略～

○　技能

ア　創作ダンス

～中略～

動きに変化を付けて即興的に表現するとは，動きを誇張したり，変化を付けたりして，「ひと流れの動き」（表現したいイメージを［ 41 ］踊れるようなまとまり感のある動き）にして表現することを示している。また，思いつくままに捉えたイメージをすぐに動きにかえて表現することである。

～中略～

〈多様なテーマと題材や動きの例示〉

下記のＡからＥまでは多様なテーマの例示であり，括弧の中はそのテーマから浮かび上がる題材や関連する動き，並びに展開例である。

～中略～

Ｅ　もの（小道具）を使う（新聞紙，布，ゴム　など）

・ものを何かに見立ててイメージをふくらませ，変化のある簡単なひとまとまりの表現にして踊ったり，［ 42 ］に変化を付けて表現したりすること。

イ　フォークダンス

～中略～

踊り方の特徴を捉えるとは，日本の民謡（よう）では，地域に伝承されてきた民謡（よう）や代表的な日本の民謡（よう）を取り上げ，その特徴を捉えることである。例えば，日本の民謡（よう）には，着物の袖口から出ている手の動きと裾さばきなどの足の動き，低く踏みしめるような足どりと腰の動き，［ 43 ］（左右同側の手足を同時に前に振り出す動作）の動き，小道具を操作する動き，輪踊り，男踊りや女踊り，歌や掛け声を伴った踊りなどの特徴がある。

［ 41 ］の語群

①　柔らかく　　②　強調して

③　ダイナミックに　　④　ひと息で

［ 42 ］の語群

①　時間　　②　場面の転換

③　強調　　④　アシンメトリー

kyosai-guild.jp

43 の語群

① アクセント　② ステップ
③ ロック　④ ナンバ

問2 次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、ダンス［第3学年］の思考力、判断力、表現力等について示されているものの一部である。
44 に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 44 。

（2） 思考力，判断力，表現力等

～中略～

〈例示〉

・それぞれのダンスに応じて，表したいテーマにふさわしいイメージや，踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けること。

・ 44 に合わせて，よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。

44 の語群

① 選択した踊りの特徴　② 体力の程度
③ 作品創作　④ 音楽

問3 次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、ダンス［第3学年］の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。
45 に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 45 。

（3） 学びに向かう力，人間性等

～中略～

話合いに貢献しようとするとは，作品創作や練習や発表・交流などの話合いの場面で，自己やグループの課題の解決に向けて，自己の考えを述べたり，相手の話を聞いたりするなど，グループの話合いに責任をもって関わろうとすることを示している。そのため，相互の信頼関係を深めるためには， 45 に配慮しながら発言したり，提案者の発言に同意したりして話合いを進めることなどが大切であることを理解し，取り組めるようにする。

45 の語群

① 相手の感情　② 周囲の状況　③ 時間の配分　④ 相手の体力

kyosai-guild.jp

〔９〕　体育理論について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体育理論［第１学年及び第２学年］の運動やスポーツの多様性の知識について示されているものの一部である。［46］、［47］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［46］、［47］。

○　運動やスポーツの多様性

ア　知識

～中略～

(ｱ)　運動やスポーツの必要性と楽しさ

～中略～

また，我が国のスポーツ基本法などを適宜取り上げ，現代における［46］についても触れるようにする。

～中略～

(ｳ)　運動やスポーツの多様な楽しみ方

～中略～

競技に応じた力を試す際には，ルールやマナーを守りフェアに競うこと，［47］に応じてルールを工夫すること，勝敗にかかわらず健闘を称え合う等の行い方があることなどを理解できるようにする。

［46］の語群

①　スポーツの必要性　　②　情勢

③　スポーツの理念　　④　健康問題

［47］の語群

①　気分　　②　タイミング

③　世代や機会　　④　体調

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体育理論［第３学年］の文化としてのスポーツの意義の知識について示されているものの一部である。 48 、 49 に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 48 、 49 。

> **○　文化としてのスポーツの意義**
>
> **ア　知識**
>
> ～中略～
>
> 体つくり運動，ダンスや野外活動などを含む広義のスポーツが，人々の生活や人生を豊かにするかけがえのない文化となっていること，また，そのような文化としてのスポーツが世界中に広まっていることによって，現代生活の中で重要な役割を果たしていることなどの 48 について理解できるようにする必要がある。
>
> ～中略～
>
> (ｱ)　現代生活におけるスポーツの文化的意義
>
> 現代生活におけるスポーツは，生きがいのある豊かな人生を送るために必要な 49 ，豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会を提供する重要な文化的意義をもっていることを理解できるようにする。

48 の語群

①　スポーツとの関わり　　②　スポーツの意味
③　現代スポーツの価値　　④　重要性

49 の語群

①　健やかな心身　　②　多様な関わり方　　③　楽しみ方　　④　時間

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」の中で、体育理論［第３学年］の文化としてのスポーツの意義の学びに向かう力、人間性等について示されているものの一部である。 50 に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は 50 。

> **ウ　学びに向かう力，人間性等**
>
> ～中略～
>
> 文化としてのスポーツの意義を理解することや， 50 や学習ノートの記述などの，思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに自主的に取り組むことを示している。

50 の語群

①　映像資料　　②　意見交換　　③　情報機器　　④　ワークシート

kyosai-guild.jp

令和６年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験
教科専門試験［中学校　保健体育］　　正答及び配点

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答	①	③	①	②	④	③	①	②	③	④
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答	②	③	①	②	①	④	④	②	③	①
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正答	②	④	③	①	①	①	③	④	②	②
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答	①	③	②	④	④	①	②	③	③	①
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答	④	②	④	①	①	③	③	③	①	②
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

kyosai-guild.jp